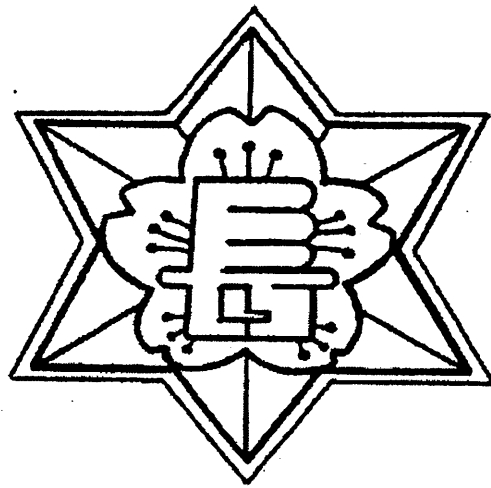


<平成 29 年度版>

学校生活の手引き



大 阪 市 立
長 吉 中 学 校

目 次

○はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
＜学校はどのような場所？＞	
＜長中生として目指す姿 校訓＞	
＜3年間で身に付けたい具体的な姿＞	
・あいさつと返事・・・・・・・・・・・・・・・・	3
・言葉遣い・・・・・・・・・・・・・・・・	4
・姿勢と身だしなみ・・・・・・・・・・・・・・・・	5
・メモ・・・・・・・・・・・・・・・・	6
○学校生活のきまり	
1. 日課表＜通常時＞＜短縮時＞・・・・・・・・	8
2. 登下校について	
・登下校について・・・・・・・・	10
・校舎配置図・・・・・・・・	13
3. 学校生活について	
・授業について・・・・・・・・	14
・休み時間の過ごし方について・・・・・・・・	15
・テストの受け方について・・・・・・・・	16
4. 服装・頭髪について	
・男女共通事項・・・・・・・・	18
・男子・・・・・・・・	20
・女子・・・・・・・・	21
5. 昼食について・・・・・・・・	22
6. 生徒会活動	
・生徒会執行部、生徒委員会・・・・・・・・	24
・学級教科係・・・・・・・・	26
7. インターネット、スマホでのトラブル防止について・・・・・・・・	28
＜欄外＞物品の購入について	

〇はじめに...

は じ め に

<学校はどのような場所？>

学校は、みなさんが人としてよりよく生きていくことを学ぶ場です。今みなさんは多くの人に助けられ、支えられ、また守られて生活を営んでいます。わたしたちはたくさんの人と関わり合いながら生きています。言いかえれば、集団の中で生きています。みなさんは中学校を卒業した後にも、高等学校や就職先といったさまざまな集団の中で生きていくことになります。そして、どのような集団にもお互いが気持ちよく生活していくための決まりやマナーがあり、持つべきモラルがあります。また、社会の中で、皆が気持ちよく生きるためには、1人ひとりがそのことを分かり、行動に表して生活していくことが大切になります。そのことから中学校では、自立して社会生活を営んでいくための力（知識・技能・態度）とともに、高等学校への進学や就職といった自分の進路を切り開いていく力を育成していくことになります。具体的には基本的な生活習慣を身に付けることや学習の理解を深めること、お互いの違いを認め合うことといった力です。学校生活の決まりや心得は、それらの力をつけるものです。よく学び、互いに高め合い、3年後に向けて力をつけていきましょう。

<長中生として目指す姿> 校訓より

- 勤 勉 — 仕事や勉強に一生懸命励む
- 自 律 — 自らの規範を確立する
- 協 調 — 互いの違いを認め、協力する
- 明 朗 — ウソやごまかしなく、明るくする

<3年間で身に付けたい具体的な姿>

▼ 日々の積み重ねを大切にする

「毎日の積み重ねがあなたを成長させる。」

あなたが1人の立派な大人になるためには、特別な何かを経験しなければいけないわけではありません。ちょっとずつ、少しずつ大人になるための準備を進めていけばいいのです。中学校を卒業すると多くの人が高等学校に進学しますが、中には就職をして一足先に社会に出て行く人もいます。どちらを選択したとしても、新しい環境でどのように周りの人とうまく関わっていくのか、どのように信頼を得ていくのか、またどのような力を発揮できるのかということが問われます。そして、そのような力や信頼はあなたの日々の生活の中での立ち居振る舞いや物事への取り組み方によって培われていきます。つまり、毎日の当たり前前の積み重ねがあなたを成長させるのです。

では、毎日の中にある当たり前とはどのようなことがあるのでしょうか。これから、みなさんが中学校生活で身に付けていく当たり前を挙げます。中には、教わり・知って・意識して、はじめて身に付くものもあります。みんなで一緒に確認してみましょう。

<毎日の中にある当たり前>

- あいさつと返事
- 言葉遣い
- 姿勢と身だしなみ

◆あいさつと返事

出会いと人間関係の当たり前。時間と場所に合った適切なあいさつは、コミュニケーションの基本になります。また、社会人としての最低限のマナーだとも言われています。あいさつは小さな子どもでもできる簡単なことのように思えますが、引っ込み思案だったり、人見知りだったり、また習慣として身に付いていない人たちにとっては難しいことかもしれません。中学校3年間かけてしっかりと身に付けることができれば、多くの人と人間関係を築いていくための素晴らしいきっかけになるでしょう。また、たいいていの人は、ほぼ毎日同じ人たちと顔を合っています。それは、あなたのことを支えてくれている人たちです。思い浮かべてみてください。家族、学校の先生や職員、地域の方、親友、クラスメイトなど、多くの人たちがあなたのことを見えないところで支えてくれています。あいさつをする・しないで、目の前のその人との関係やその日1日がどのようなものになるかが決まるかもしれません。元気よく気持ちの良いあいさつで毎日がスタートできればいいですね。

また、あなたがだれかに声をかけたとき、何も反応が返ってこなければどのように思いますか。きっと、「無視されたのかな」「嫌われているのかな」と思うでしょう。同じように、誰かがあなたの名前を呼んだり、声をかけたりしたときに何も反応がなければ、相手はあなたに無視されたと思うでしょう。これでは上手に人間関係を築いていくことはできません。名前を呼ばれて返事ができたり、声をかけられたときに立ち止まってそれに応答することも人間関係の当たり前の1つです。相手の声にきちんと反応できる人になりましょう。

「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」

「さようなら」「おやすみなさい」「失礼します」「ありがとうございます」「どういたしまして」

「いただきます」「ごちそうさま」「いってきます」「いってらっしゃい」「おねがいします」

- ☐ 親しき仲にも礼儀あり。家族や友人でもきちんとあいさつができるようになる。
- ☐ 時間や場所に応じた適切なあいさつができるようになる。
- ☐ 止まって顔を見て、目を見てあいさつができるようになる。
- ☐ 場面に合わせたお辞儀ができるようになる。
- ☐ 他の人の前を通るときには、会釈をしながら通ることができるようになる。

お辞儀のいろいろ

「会 釈」：上半身を約 15 度前方に傾倒する。廊下ですれ違ったり、かしこまらない軽い挨拶などでは、会釈をして軽い挨拶を行う。

「敬 礼」：上半身を約 30 度前方に傾倒する。面接や公共の場など畏まった場所で行う一般的なお辞儀。

「最敬礼」：上半身を約 45 度前方に傾倒する。恩人にお礼するときや、問題を起こしたときのお詫びの時に行われることが多い。

◆言葉遣い

「言葉は立ち居を表す。」

言葉遣いによって、その人の人格や性質が分かるという日本のことわざです。あなたの話し方や使う言葉が、相手があなたを知る情報になるということです。私たちは、生活の中で細かく言葉を使い分けます。かしこまった表現からくだけた表現まで、自分との関係や親しさの違い、また相手の年齢や立場などを踏まえて使い分けます。乱暴だったり、場をわきまえなかったりする言葉遣いは、人を傷つけたり、その場の雰囲気をつぶ壊しにしたり、相手に不快な思いをさせたりすることになります。そのことから、目の前の相手とうまく人間関係を築いていくためには、ていねいな言葉遣いを心がけることが大切です。人は社会に出て行くにあたって、そのような言葉遣いを知る必要があるのです。また、今あなたを支えてくれている人たちとの関係を考えたとき、それを今知り、身に付ける必要があるのです。そのような言葉遣いが、敬語、すなわち相手を敬う言葉遣いです。社会に出ると、性格や年齢、ものの考え方など、いろいろな面で違いのある人たちと関わっていくことになります。ていねいな言葉遣いは、その互いの関係をなめらかに動かす役割を果たしてくれます。そして、今まで話してきた内容は高校の面接のときや、就職したときに急に身に付くようになるものではありません。習慣づくように日々意識して過ごしましょう。

今あなたの周りに、乱暴で誰かを傷つける言葉が氾濫していませんか。「ウザい」「キモイ」「うっとうしい」「死ね」「殺すぞ」... その他にも、相手の顔や体の特徴をバカにした言葉。言われてうれしい人は誰もいないはずです。また、自分の立場や相手の気持ちを考えていない軽はずみな言葉や偉そうな物言いは、あなたの信用を落とすだけでなく、相手との関係を傷つけることにもなります。今挙げたような言葉が当たり前のように飛び交っている環境では、あなたの心も周りにいる人たちの心もすさんでいきます。あなたが発した言葉には必ず受け手（言葉を受ける側）がいます。受け手のことを考えた言葉を遣える人になりましょう。

- ☐ 「～です」や「～ます」を付けた丁寧な言葉遣いができるようになる。
- ☐ 場面にあった敬語（丁寧語、尊敬語、謙譲語）が使えるようになる。
- ☐ 乱暴な言葉や人が傷つく言葉を知り、慎む。

声のボリューム

0・・・心の中で	考えるとき 人の話に耳を傾けるとき
1・・・隣の人に	そっと聞くととき
2・・・二人で	会話をするとき
3・・・グループで	話をするとき
4・・・クラス全員に	発表するとき
5・・・遠くの人に	呼びかけるとき 応援するとき

◆姿勢と身だしなみ

「姿勢が問われる」、「この試合にどのような姿勢で臨むのか」というように、「姿勢」という言葉は単に見た目の格好や立ち姿などの目に見える姿形だけをさすのではなく、その人の心構えや気構え、決意を表すことがあります。そのことから、人の心構えや決意などは、立ち姿や座り方に表れているとも言えますね。また、「心」と「体」はつながっているとされています。形として見える「体」（立ち姿や座り方、表情）をコントロールすることができずに、形として見えない「心」（感情）をコントロールすることはできません。そのことから、まず正しい姿勢（立ち姿、座り方）を形作っていくことが必要です。特に高校受験の試験中や面接では、その姿勢からどのような生徒なのかを判断する材料にしていることが多いです。日頃から、正しい姿勢が習慣化するように意識しましょう。

「身だしなみ」の語源は、「身をたしなむ」。「身をたしなむ」とは、相手に不快感を与えないように、自分の服装を正しく整えることであり、常に周囲への配慮をもつことです。「その場に合った身だしなみを整えられる」ということは、大人になったときにさまざまな場面で必ず求められることです。自分の好みや思いを優先することが、周りの人たちに不快な思いをさせるだけでなく、自身の評価を下げてしまい、信頼を失うことにつながることもあります。また、最初の6秒で人の第一印象は決まると言われています。外見よりも内面が大事だとはよく言われますが、第一印象が悪いと本来見てもらいたいあなたの素晴らしい内面を知ってもらうことにも辿り着かないのです。あなたのその身だしなみが、あなたという人間に関する多くの情報を発していると気づく必要があります。

「服装のTPO。」

冠婚葬祭（結婚式やお葬式など）では、出席する際の服装はそれぞれ違います。出かける「目的」と「場所」によって、服装を選ぶことになります。T（time：時間）、P（place：場所）、O（occasion：場合）。TPOとは、「時間」と「場所」と「場合」に応じた方法や態度、服装の使い分けを言います。どのような場面に、どのような服装をするのかということはもちろん、「着こなし」も重要になってきます。いくらその場にふさわしい服装を選んでいても、着崩していたり、おしゃれのつもりで自分勝手な着こなしをしていたりしたら、相手に不快な気持ちを与えるだけでなく、その場を台無しにしてしまいます。では、中学校ではどうでしょうか。最初にも挙げましたが、中学校は集団で生活を行う場です。また、公（おおやけ）の場であるとも言えます。おおやけの場というのは、社会や世間、周りにいる人全体に関わることを意味します。そう考えると、多くの人が集まり、ともに生活を営む学校に登校してくるとき、「きちんと身だしなみを整えてくる」ということも学びの1つだと言えます。

「身だしなみ」：（主に相手の視点で）その場に合った服装を整え、周りの人に良い印象（不快感をもたせない）を与えるためのもの。

「おしゃれ」：（主に自分の視点で）場は関係なく、自分の着たい服を着たり、個性を出したりするときのもの。

- 正しい姿勢（立ち姿、座り方と心構え）で、物事に取り組むことができるようになる。
- 清潔感のある身だしなみを整えることができるようになる。
- 時間、場所、場合に応じた服装の使い分けができるようになる。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

例) 授業中は机に伏せず頑張る、授業のあいさつは必ずする、など

--

○学校生活のきまり

1. 日課表

< 通 常 時 >

	月 ~ 金
登 校	~ 8:25 (予鈴)
朝礼 (学活)	8:30 ~ 8:40
1 限	8:40 ~ 9:30
2 限	9:45 ~ 10:35
3 限	10:45 ~ 11:35
4 限	11:45 ~ 12:35
昼 食	12:35 ~ 13:10
昼 休 み	13:10
予 鈴	~ 13:25 (予鈴)
5 限	13:30 ~ 14:20
6 限	14:30 ~ 15:20
学 活・清 掃	15:20 ~ 15:40
下 校	~ 17:00 (一般生徒)

学校行事・学年行事のあるときは、時間帯が変わります。

< 短 縮 時 >

	月 ~ 金
登 校	~ 8:25 (予鈴)
朝礼 (学活)	8:30 ~ 8:40
1 限	8:40 ~ 9:25
2 限	9:40 ~ 10:25
3 限	10:35 ~ 11:20
4 限	11:30 ~ 12:15
昼 食	12:15 ~ 12:50
昼 休 み 予 鈴	12:50 ~ 13:05 (予鈴)
5 限	13:10 ~ 13:55
6 限	14:05 ~ 14:50
学 活・清 掃	14:50 ~ 15:10
下 校	~ 17:00 (一般生徒)

学校行事・学年行事のあるときは、時間帯が変わります。

2. 登下校について 【ゆとりある行動をしよう】

◆登 下 校

(1) 登校について

- ・登校時間8：25までに登校する。8：25以降は遅刻です。

【8：25～8：30 — 予鈴遅刻】

➡ 週番の先生の指導を受けてから、入室する。

【8：30以降 — 本鈴遅刻】

➡ 職員室に寄り、学年の先生に遅刻カードを記入してもらってから、入室する。

※ 集会のあるときは、8：20までに登校し、8：25には整列できるようにする。

※ 欠席、遅刻の場合は、必ず8：25までに保護者の方に担任の先生へ連絡してもらう。連絡のない場合は、家庭に連絡をとります。

⇒ やむをえない理由がなく予鈴遅刻、本鈴遅刻を繰り返す場合は、家庭に連絡します。

(2) 下校について

- ・一般生徒の下校は原則17時です。それ以降はクラブの先生等の指示にしたがいましょう。

◆登 校 後

(1) 登校後は無断で外出はできません。

➡ やむなく外出する必要がある場合は、担任の先生から生徒手帳に許可をもらう。
戻ったら担任の先生に連絡する。

⇒ 許可なく学校外へ出た場合、指導して保護者の方に連絡します。

(2) 学習環境を整える。

- ・机、教科書の整理、荷物の整頓等、授業の準備を行い、カバンは机の横にかける。

◆再 登 校

- (1) 懇談、部活動、またレポートやノートの提出で学校に再登校するときにも、以下に示す登下校時の注意を守ること。

◆登 下 校 時 の 注 意

(1) 身だしなみ

- ・登校、再登校の際には、標準服（制服）を着てくること。
- ・登下校中、名札はポケットの中に入れる。（防犯のため）
- ・正門で名札の出し入れを行う。（校内では名札は出しておく）

(2) 登下校時は、交通ルール・マナーを守り、他の人の迷惑となるような行為はしない。

- ・信号を守り、車道の歩行をしない。（重大な事故につながるおそれがある。）
- ・ゆずりあいの気持ちを持ち、通行人の妨げにならぬよう横に広がった歩行はしない。
- ・寄り道、路上での長話はせず、速やかに下校する。
- ・地域の人に出会ったら、あいさつをする。

⇒ 著しくマナーが悪い場合、指導して保護者の方に連絡します。

(3) 次に挙げることは禁止しています。

- ・寄り道（お店、友人宅、公園、道路でのたむろ）

⇒ 著しく逸脱する場合、指導して保護者の方に連絡します。

- ・買い食い、飲食（アメ、ガムなどお菓子を含む）

⇒ 違反した場合、指導して保護者の方に連絡します。

- ・自転車通学、迷惑駐輪

➡ 特別な理由がある時は、保護者に生徒手帳の『連絡欄』に許可願を書いてもらい、担任の先生に提出する。自転車に乗ってきた時は、中庭にとめる。

⇒ 地域のマンション、住宅から迷惑駐輪の連絡があります。許可なく自転車通学していることを発見した場合もしくは迷惑駐輪している場合は、原則として当該生徒を指導して自転車を保護者の方に引き取りに来てもらいます。

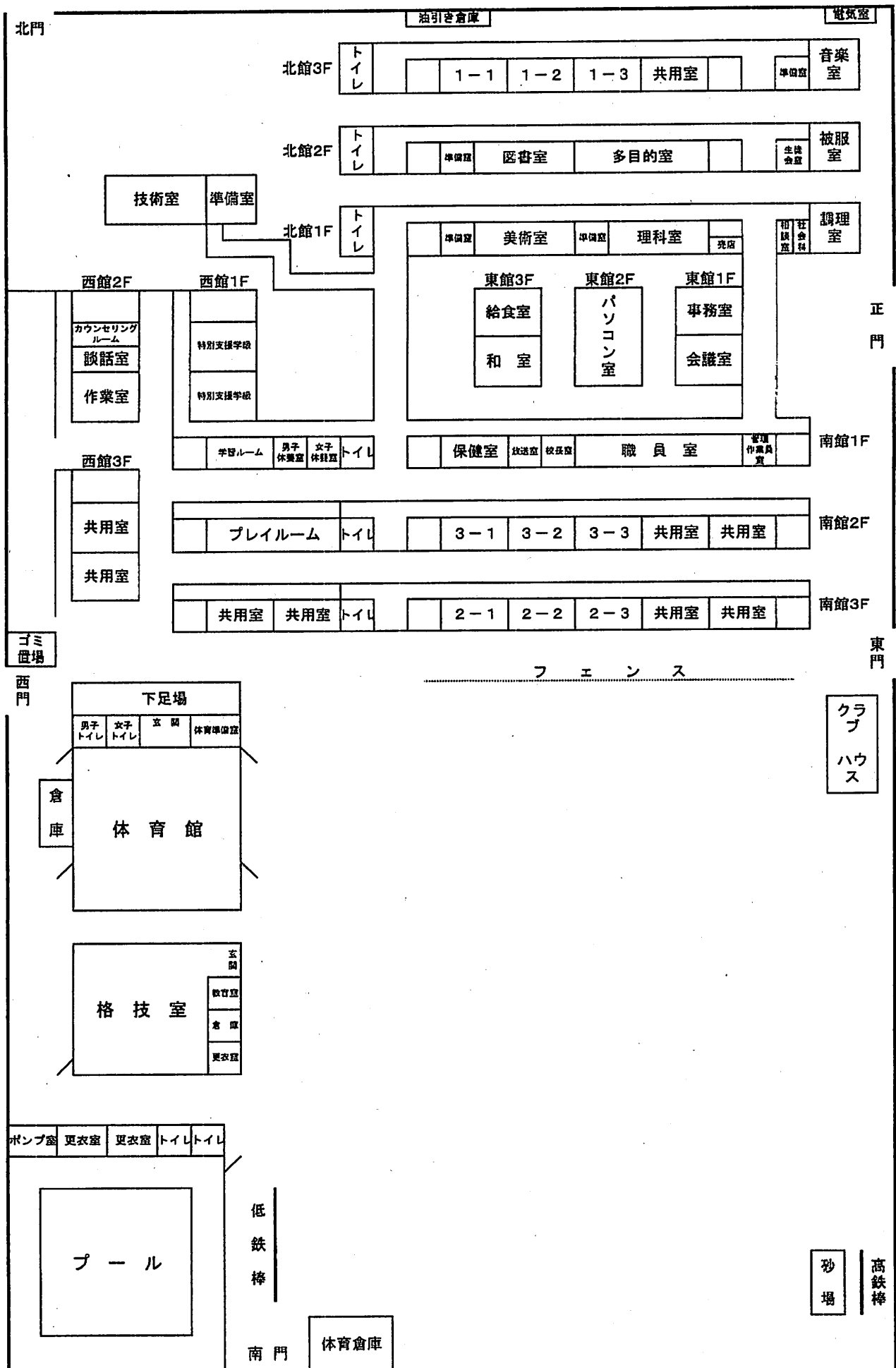
(4)不審者に出会わないように、また出会ったときに身を守るために次のことを覚えておくこと。

- できるだけ明るく人通りが多い道を登下校に使う。
- 家が同じ方向の人と複数で帰るようにする。
- 見知らぬ人に名前を聞かれても答えない。
- 不審者に遭遇した場合は、近くの人に助けを求めるか、その場から避難し、近くのお店に助けを求める。また、学校と家の距離を比べたときに学校が近ければ、学校へ来る。
- もし何かの被害にあった場合（声掛け、付きまとい、接触など）、必ず保護者の方に相談すること。また、学校の先生（担任、保健室の先生など）にも相談する。

※ 保護者の方へ

登下校中に生徒が、事故にあった場合もしくは不審者被害にあった場合、学校にもご一報いただきますよう、よろしくお願いします。通常の方法での通学中の事故は、スポーツ振興センターからの給付対象となります。また不審者に関するみなさまからの情報をもとに、教職員で巡視を行うとともに、警察等関係機関とも連携して子どもたちの見守りにあたっていきたいと思います。

大阪市立長吉中学校 校舎配置図



3. 学校生活について【自分を高める行動をしよう】

◆授業について

学校生活の多くの時間を占めるのが授業です。みなさんはそれぞれの授業で、社会に出るために、また高等学校に進学するために必要となる知識と態度を身に付けていくことになります。各教科をしっかりと学び・身に付けていくことで、あなたの将来の選択肢は広がっていきます。また、きちんと座り話を聞くことや得意・不得意に関わらず一生懸命取り組むこと、我慢強く物事に打ち込むことなどは、社会生活で信頼を得ていくために大切になってくることです。それらは、日々の授業の中で培われていきます。授業への臨み方を確認して、充実した学習ができるようにしましょう。

(1) 授業準備とチャイム前着席

- ・休み時間中に次の授業準備をしておく。(必要なものを机の上に用意し、不必要なものはしまう)
- ・チャイムが鳴るまでに着席して、担当の先生が来られるのを静かに待つ。
- ・移動教室の場合は、授業開始のチャイムまでに移動を完了させる。

⇒ やむをえない事情なく授業開始のチャイムで入室、着席できていなければ、授業遅刻として指導します。また頻繁に授業遅刻する場合は、指導して保護者の方に連絡します。

(2) 授業あいさつ

- ・授業始まりと終わりにあいさつを行う。担当の先生より授業終わりの合図があるまで、教室から勝手に出てはいけない。
- ・授業始まりのあいさつの前に、机と身だしなみを整えるとともに、授業に臨む心を整える。

(3) 授業中

- ・自分の席に正しく座り、聞く姿勢をつくる。
- ・勝手に立ち歩いたり、教室の外に出ることは認めない。
- ・指示をよく聞き、必要な作業を速やかに行う。
- ・不必要な私語は慎み、質問や発言は担当の先生の許可を得て行う。
- ・机に突っ伏したり、居眠りはしない。
- ・体調が悪くなった時は、速やかに担当の先生に申し出る。
- ・トイレは休み時間に済ましておくようにして、どうしても行きたくなった場合は担当の先生に申し出る。

- ・その他、授業中は担当の先生の指示に従い、授業に取り組む。

⇒ 授業態度が悪い場合、改善に向けて個別指導を行います。また、その後に改善が見られなかった場合や授業の進行に支障が出るような著しい問題行為があった場合は、個別指導を行い、保護者の方に連絡します。

(4) 授業後

- ・次の授業の準備を行い、休み時間に入る。

◆休 み 時 間 の 過 ぎ し 方

(1) トイレと水分補給

- ・トイレは休み時間中に済ませておく。
- ・お茶や水を飲んでもかまわない。水飲み場まで行く時は、授業に遅れないようにする。

(2) 休み時間中

- ・他学年のフロアには行かない。また、他クラスの教室には入らない。やむをえない事情がある場合は、先生の許可をもらう。(移動教室での授業や更衣の場合は除く)
- ・教室の中や廊下は走らない。
- ・他人のものに勝手に触らない。
- ・危険な遊びやケガにつながる行動はしない。
- ・体調不良などで生徒が教室で休んでいることがあります。周りの生徒に配慮をもって過ごす。

(3) 昼休み

- ・昼食時間終了のチャイムまでは、先生の指示にしたがい教室で待機する。
- ・昼休みのみ、学級ボールの貸し出しを行う。
- ・学級ボールの使い方や借り方を守り、また、責任を持って返却する。
※学級ボールの使い方は、体育委員に説明を行います。
- ・昼休みは、予鈴で教室に戻る。

⇒ 休み時間中の危険な遊びや対人トラブルについては、事情を聞き指導して、保護者の方に連絡することがあります。

◆ テ ス ト の 受 け 方

(1) 前日までに

- ・ 座席は出席番号順で、左右の間隔は十分とっておくこと。
- ・ 机の中は、からにしておくこと。
- ・ 机の落書きは、たとえ自分が書いたものでもなくとも消しておくこと。
(消えないものは、担任の先生に見せ、相談する。)

(2) 当日 (開始のチャイムが鳴る前に)

- ・ 休み時間は、特別な用事がない限り、静かに教室で自習などをする。また、必ずトイレは済ませておく。
- ・ 机の上には、必要な筆記用具 (HB の鉛筆が望ましい)、定規、コンパスなどのみ置いておく。

※ 不必要な筆記用具は、筆箱に入れ、カバンにしまっておく。

※ テスト開始後は、たとえ必要なものであっても、カバンから出したり、貸し借りしたりできません。

- ・ 下敷きは使用禁止。例外として、どうしても必要な人のみ、テスト監督の先生に申し出て、許可をもらい使用できる。

(3) テスト開始

- ・ チャイムが鳴る前には自分の座席に着き、静かにテスト監督の先生が来られるのを待つ。

(チャイム前着席)

- ・ テスト監督の先生が来られたら、速やかに教科書、ノート、プリント類をカバンの中に入れ、カバンは机の横にかける。
- ・ テスト用紙が配られたら裏向けに置いておき、私語は一切禁止。
- ・ 「始め」の合図があれば、印刷ミスがないか、用紙がすべてそろっているか確認し、もし、不足、ミスなどがあれば、黙って手を挙げて、テスト監督の先生を呼ぶ。

(4) テスト中

- ・ 私語、独り言を言ったり、きよろきよろしたり、目配せするなどの行為は一切禁止。
- ・ 解答用紙はできるだけ周囲の人に見えないように、自分で管理する。見えやすいところにおいたり、持ち上げたりすることは、わざと見せているとみなされ、カンニングとしてあつかう。

- ・テスト中に、テスト用紙や筆記用具などを落とした場合には、勝手に取りにいかずに、黙って手を挙げて、監督の先生の指示にしたがう。
- ・テスト中に質問があれば、静かに手を挙げて待つ。
- ・時間が余った時には、何回も繰り返して解答用紙を見直す。それでも時間が余った時には、解答用紙を裏返して机の上におく。
- ・他の人の邪魔をせず、カンニング行為と間違われないようにして、静かに待つておくこと。
- ・解答用紙を出す前にもう一度、出席番号・名前の記入忘れがないかどうか確かめる。
- ・その他、どうしても困ったことがあれば、手を挙げて、監督の先生を呼ぶ。

(5) テスト終了後

- ・問題の答えが全部出来上がってなくても、チャイムが鳴ったら、筆記用具を置いて、一番後ろの席の人だけが立って集める（監督の先生の指示をよく聞く）。他の人は、静かに自分の席で座って待つ。

※ 集め方は、自分の答案用紙を上に向けておき、前の人の解答用紙を自分の解答用紙の上に、同じ方向に向けて重ねていく。

※ 監督の先生に出すときは、前の机でそろえてから、両手で出す。

- ・テスト監督の先生の指示があるまで、立ち歩いたり、おしゃべりをしたりしない。

☆ 黒板について

平成○年度△学期 □□テスト（☆日目）

1 限 （科目） ○：○○～△：△△

2 限 （科目） ○：○○～△：△△

3 限 （ ） ○：○○～△：△△

在籍者数 ○○名

出席者数 △△名

欠席者数 □名

欠席者名

4. 服装・頭髪について【身だしなみは、その人の内面を映す鏡】

◆男女共通事項

(1) 学生服について

- ・本校の学生服（標準服）を着用します。変形は認めない。

➡ 違反の服装で登校した場合は、正しい服装に着替えるために帰宅させることもあります。また、正規のものがなければ、学校で貸し出すこともあります。

- ・胸ポケットには、本校指定の名札をつける。

➡ 名札を忘れたときや注文中のときには、学校の仮名札を学年の先生に借ります。

(2) 靴について

- ・靴は白を基調とした運動に適した靴とする。

➡ 違反の靴の場合は、履き替えに帰宅させることもあります。または、体育館シューズを貸し出します。

(3) 靴下

- ・白でワンポイントのもの。（大きすぎず、派手でないもの）
- ・ルーズソックスや網目のファッション性のあるものは禁止。
- ・長さは、くるぶしから膝下程度までとする。

➡ 違反した時は、学校の靴下を借りて履き替えます。放課後に、担任の先生に返します。

(4) 通学カバン

- ・学校指定のカバン（ポストンバッグとサブバッグ）を使用する。
- ・荷物が入りきらない場合のみ、他の袋を使用してもよい。
- ・部活動の荷物が入りきらない場合、部活動で統一されたカバンのみ使用してもよい。
- ・カバンにステッカーなどを貼ったり、落書きをしたり、複数のキーホルダーやぬいぐるみ等を付けてはいけない。

➡ 違反した時は、正しく直させます。

(5) 装飾品について

- ・ピアス、リング、カラーコンタクト、ネックレスなどは着けてこない。

⇒ 指導して保護者の方に連絡します。また、装飾品を学校で預かり、直接保護者の方へ渡します。

(6) 生徒手帳について

- ・常に携帯する。生徒手帳は身分を証明する、大切な証明書であることを自覚する。
- ・事前に分かっている欠席、遅刻、早退、自転車通学、体育の見学等があるときは、保護者に生徒手帳の各届欄に記入、捺印してもらう。
- ・手帳への落書きをしたり、プリクラ、シールなどは貼ったりしてはいけない。
- ・紛失した場合は、担任の先生に速やかに申し出て、再発行してもらうこと。

(7) 持ち物について

- ・教科書、筆記用具等の必要な物をきちんと用意し、忘れ物がないようにする。
- ・学校に許可されたもの以外を置いて帰ってはいけない。(置き勉は学力の落し物)
- ・学習に必要なものは持ってきてはいけない。

<必要ない物>

- ・携帯電話 ・スマートフォン ・マンガや雑誌 ・ゲーム機 ・お菓子やジュース
- ・トランプやカードゲーム類 ・高価なもの ・必要のないお金 ・刃物(カッターナイフ)
- ・ライター ・その他、学習に必要な物

⇒ 不要物を持ってきた場合、指導して保護者の方に連絡します。また、不要物は学校で預かり保護者の方に直接返します。

※ 12月から使用を認める防寒具については、2学期以降に再度連絡します。

◆男子

(1) 頭髪について

- ・いつもきちんと清潔にし、高校入試や就職試験で通用するものであることを心がける。
- ・染色、脱色やパーマなどをしない。
- ・ツープロック、モヒカン、過度な剃りこみ、左右非対称など、ファッションを意識した頭髪にしない。
- ・長さの目安としては、前は目にかからない程度、横は耳を覆いかぶさらない程度、後ろはえりにかからない程度とする。
- ・整髪料（ワックス等）は禁止。
- ・眉毛をそってはいけない。

⇒ 上記にあるような違反した頭髪等の場合、その場で直せるものはその場で直すように指導します。著しくいびつな場合、正しくするために帰宅させることもあります。また、期限を設けて改善してもらうように保護者の方に協力をお願いすることもあります。

(2) 学生服(標準服)について

- ・ボタンは学校指定のものを付ける。
- ・上着の下には、必ずカッターシャツを着る。
- ・防寒のために、カッターシャツの上にトレーナーやセーターを着てもよい
(防寒用のトレーナーやセーターは、派手でないもの、フードが付いてないもの)
- ・上着を脱ぐ場合は、カッターシャツを着ているときのみである。
- ・ベルトは、黒、紺、茶のものを着用する。
- ・夏服着用時は、半袖のシャツを着る。
- ・カッターシャツの下に着る肌着は、白の肌着か体操服。ワンポイント程度まではかまわない。
- ・集会や式に参列するときは、ホックをとめる。

⇒ 以上のことを違反したときは、学校の物品を借りて着替えます。また、違反を繰り返す場合、指導して保護者の方に連絡します。頻繁に違反を繰り返す場合、正しくするために帰宅させることもあります。

◆女子

(1) 頭髪等について

- ・いつもきちんと清潔にし、高校入試や就職試験で通用するものであることを心がける。
- ・かざりをつけたり、左右非対称にしたり、ファッションを意識した頭髪にしないこと。
- ・染色、脱色やパーマなどをしない。
- ・長さの目安としては、前は目にかからない程度。かかる場合、派手でないピンで留める。
- ・髪は編み込まない。また、髪をくくるゴムは黒、紺、茶色とする。
- ・整髪料（ワックス等）は禁止。
- ・眉毛をそってはいけない。
- ・化粧、マニキュア、カラーコンタクト、アイプチなどをしてきてはいけない。

⇒ 上記にあるような違反した頭髪等の場合、その場で直せるものはその場で直すように指導します。著しくいびつな場合、正しくするために帰宅させることもあります。また、期限を設けて改善してもらうように保護者の方に協力をお願いすることもあります。

(2) 学生服について

- ・スカートの長さは、ひざ頭にかかる程度とする。
- ・スカートを切ってはいけない。
- ・ネクタイは必ず着ける。
- ・肌着は、白の肌着か体操服。ワンポイント程度まではかまわない。
- ・防寒のために、セーラー服の中にトレーナーやセーターを着てもよい。
(防寒用のトレーナーやセーターは、派手でないもの、フードが付いてないもの)
- ・そでのホックは必ずとめる。

⇒ 以上のことを違反したときは、学校の物品を借りて着替えます。また、違反を繰り返す場合、指導して保護者の方に連絡します。頻繁に違反を繰り返す場合、正しくするために帰宅させることもあります。

2017年4月～

親子給食が始まります！

①給食当番の服装



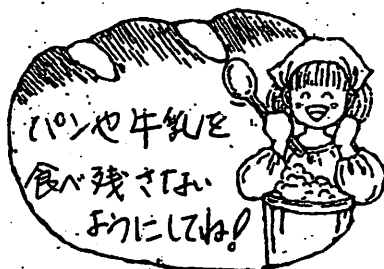
当番の人

エプロン、帽子、マスクを袋に入れて教室に
(バンタナ三角巾) 置いておく。
(机の横にかけておく)

一週間使用したら、持ち帰り、自分で洗ってください!!
(その後すぐに捨てる)

全員

ランチョンマットを持ち参りましょう!
(大きめのハンカチOK)



②



各学年の階で
手を洗い。
アルコール消毒も
忘れずに!



学年ごとに
アルコール消毒は
保管しています。

パンについて

残ったパンを箱にパンがはさま
ないように注意する。

必ず確認し
てください。

おかずデサート「はと」について



牛乳や牛乳パックを
はとに入れてはいけません。

小学校(親校)で作られたあつたか〜い給食が

中学校(子校)まで運ばれてきます!

学年の配膳場所におかずなどをとりに行く

〈クラスの当番例〉

- ご飯(パン) ... 2名
- 牛乳 ... 2名
- 大おかず(食缶大1) ... 2名
- 小おかず(食缶小〜中2) ... 2名
- 食器(かご1) ... 2名
- その他(シヤム、台ふき) ... 1名

※当番以外の人 は 手を洗い、机に
ランチョンマットを敷いて、食べる準備
をしよう!!

牛乳は
3F 配膳室前に

- おはし(スプーン) 取り揃えて
持ち参りましょう。
- アレルギーのある人は、お皿
の色がわかります。
各自で配膳室に取りに
行って参ります。
- 配膳トレーはスプーンをはと
よせて、運ぶ時に使います。

食器類について

スプーン、はし



向きをそろえる!

おわん



横にしない!

汁が
こぼれず

おしり、しゃもじ
(おはし)

ご飯の箱に
入れたおはし
を、おはし
入れに入れて
返却

食器のかごに入れて
返却



クラス名を
クラス名を
クラス名を

④『いただきます』



配膳タイム!!

体調のよくない生徒。
(お腹をこわしている人
手に化膿した傷がある人)

③配膳をする

スプーンはと(大おかず)

教室(余備の机と使う)

ご飯、小おかず(2)「はと」

「はと」(伸縮式机と使用)

牛乳

当番が配膳する

当番以外の人 は、ろうか
に並び、食器を持ち
おはし、スプーンをはと
よせて参ろう。
スプーン、牛乳、おはし
はとをはとよせて参ら
せよう。

⑤『ごちそうさまでした』

片づけ

※ 左の図をよく見て
注意して片づけよう!!

5月限目は
P.M.1:30~
予鈴は
P.M.1:25 です。

配膳の工夫

配膳場所から運んで来たら、それぞれの台の上に置きます

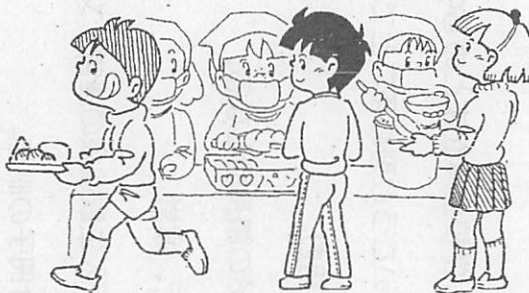


教室（教卓の横の机）

トレーでお皿を
何杯かまとめて
運びます。（各机に）

食缶やビ
ヤケトに
注意

廊下（伸縮式配膳台）



牛乳当番の人は、配膳室前の
盛り付け見本を見て、盛り付け方
分量を盛り付ける人に伝える。

並んで順におかず
やビヤ、入れてもらう

おたまで、よう量の減り減り
おすかいですが、最初は、
少めがいいかも……
マイペースによろしく。

牛乳、シヤム、や
小袋に入ったおかず
などは、当番の人が
各机に配ります



1. 水でぬらす
2. 石けんをつけ、泡立てる
3. 手のひらを洗う
4. 手の甲を洗う
5. 指の間を洗う
6. 親指をゆじり洗う
7. 爪の間を洗う
8. 手首をゆじり洗う
9. しっかり泡をすすぐ
10. ハンカチやタオルでしっかり拭く

正しい手の洗い方



重要事項1 異物混入について

☆異物混入などおかしいと思ったら、途中ですぐに職員室へ連絡する。

（現状維持のままにし、その時点でみんな食べるのをやめる）

重要事項2 食中毒などの予防について

☆給食調理は、食中毒予防のため、徹底した衛生管理、体調管理を実施しています。

☆お腹をこわしていたり、手に化膿した傷があったりするときは、配膳をやめてください。

☆嘔吐があったときは、食器を配膳室に返却しないで！
先生に洗浄・消毒してもらって先生が返却することになっています。

重要事項3

☆持ち帰りは一切しないでください。

その他

☆ごみの分別に協力してください。

☆果物の皮などは、食缶の中に入れてそのまま返却する。

☆食器、食缶を大切に扱ってください。

7. 生徒会について

◆生徒会本部役員会

(1) 構成

- ・本部役員会は会長1名、副会長2名（男子1名 女子1名）と執行委員2名で構成される。

〔会長〕

- ・学校を代表する生徒として、全校生徒の模範となるような学校生活をおくるとともに、さまざまな学校行事の中心となり、リーダーシップを発揮する。
- ・本会を代表して、会務をまとめる。

〔副会長〕

- ・会長を補佐し、会長に支障のあるときはその職務を代行する。

〔執行委員〕

- ・本会の記録をとり、その保管と文章の整理をする。

(2) 本部役員の役割と仕事

生徒会本部役員会の仕事は、学校全体をまとめる中心的人物として、そのリーダーシップを発揮し、学校生活をより良くしていこうと努めることである。また、全校生徒の模範となり、学校の代表として校内外の活動に取り組む。

- ・月に1回生徒議会を設け、その議長団となる。
- ・全校集会と各学校行事の進行、運営。

（入学式、卒業式への参列・新入生歓迎会の運営・文化祭の運営・PBC活動・ソーラン）

- ・生徒会新聞の発行と学校紹介冊子の制作。

◆生徒委員会

(1) 構成

- ・生徒委員会は、学級に次の委員をおく。

学級代表（男子1名 女子1名） 文化委員（男子1名 女子1名）

図書委員（男子1名 女子1名） 環境委員（男子1名 女子1名）

体育委員（男子1名 女子1名） ※ 選挙管理委員会（各学級 1名）

（２）各委員の役割と仕事

生徒委員会の仕事は、学校生活をより良いものとするために、各委員会に割り振られた仕事や委員会が独自に企画して承認された活動に取り組むことである。学級の代表として仕事にあたることを自覚し、学級活動、また学校行事で活躍することが期待される。

〔学級代表〕 学級委員会に出席参加する。

- ・学級の代表として、授業、学年行事、学校行事など学校生活において模範となるように努める。
- ・生徒議会に出席し、学級の代表としての意見を発言するとともに、生徒議会の議決権をもつ。
- ・学年行事の企画、運営に携わる。
- ・全校集会、学年集会において、学級の整列、点呼を行う。
- ・出欠席、遅刻、早退等に注意し、常に先生と学級生徒との連絡をとる。

〔文化委員〕 文化委員会に出席参加する。

- ・文化祭、展示発表などの計画、準備を行う。
- ・学級の装飾、掲示及び文化的活動の計画、実践にあたる。
- ・全校集会、学年集会の際に、放送設備の準備を行う。

〔図書委員〕 図書委員会に出席参加する。

- ・学校図書館の利用を生徒全体に広報し、読書意欲の向上を促す。
- ・図書館活動（貸し出し、返却、整理など）を行う。

〔環境委員〕 環境委員会に出席参加する。

- ・健康管理、環境衛生に留意する。（冬季の教室換気など）
- ・学校保健委員会に出席参加する。
- ・傷病者が出た場合に先生または保健室に連絡する。
- ・学級備品の整備及び破損個所の点検を行う。
- ・花壇の整備を行う。

〔体育委員〕 体育委員会に出席参加する。

- ・体育の授業の連絡を聞き、整列、準備や片付けなどの授業補助を行う。
- ・校内大会、体育大会などの行事について、計画、実施にあたる。

※〔選挙管理委員〕 選挙管理委員会に出席参加する。

- ・生徒会選挙の公示を行い、立会演説会の開催、運営をし、投票日の放課後に開票を行う。

◆学 級 教 科 係

学級教科係の仕事は、各教科の授業がスムーズに進行するよう、授業の連絡を学級に知らせ、プリントの配布や提出物の回収などを行う。

〔国語科〕

- ・授業プリントを配布する。
- ・提出物の回収、返却をする。
- ・宿題の提出チェックを補助する。(ハンコ押し)
- ・百人一首の大会運営と司会進行をする。

〔社会科〕

- ・授業前の休み時間に職員室に来る。
- ・社会科の教材を教室へ運ぶ。また授業後、元の場所に返却する。
- ・その他、授業担当の先生の指示にしたがって授業準備の手伝いをする。

〔数学科〕

- ・プリントを配布する。
- ・提出物の回収（出席番号順）と返却をする。

〔理科〕

- ・授業前の休み時間に授業担当の先生に連絡を聞きに行き、学級に伝える。
- ・提出物の回収、運搬をする。
- ・配布を手伝う。
- ・忘れ物の点検をする。

〔英語科〕

- ・CD デッキを運搬する。
- ・提出物の回収、返却をする。
- ・忘れ物チェックをする。
- ・プロジェクター準備を補助する。

〔音楽科〕

- ・授業はじめの準備を手伝う。
- ・提出物の回収と返却をする。
- ・授業終わりに、次時の連絡を聞き、終礼で学級に連絡する。

〔美術科〕

- ・授業前の休み時間に授業担当の先生に連絡を聞きに行き、学級に伝える。(授業に必要なもの)
- ・配布物、回収物を手伝う。

〔技術科〕

- ・授業前の休み時間に授業担当の先生に連絡を聞きに行き、学級に伝える。(授業の場所・準備物)
- ・準備物を用意する。

〔家庭科〕

- ・前日までに次の授業の連絡を授業担当の先生に聞きに行き、学級に連絡する。
- ・授業前の休み時間内に学習ノートを被服室前に取りに行き、配布しておく。
- ・家庭科室の戸締り、後片付けの手伝いなど。
- ・ワークブックの回収、提出など。

〔体育科〕

- ・授業日の朝、連絡を授業担当の先生に聞きに行き、学級に連絡する。
- ・授業時、号令をかけ、準備運動等を進める。
- ・授業後、次時の連絡を聞き、終礼で学級に連絡する。

8. ネット・スマホトラブル防止について

◆はじめに

今や、私たちの日常生活になくてはならない存在になりつつあるインターネット。情報機器も、パソコン、タブレット、スマホ、携帯ゲーム機などと多種多様になっています。インターネットやスマホなどは、安全に正しく使うことができれば、とても便利なものです。しかし、使い方を一歩間違えれば、人の命や自分の命をおびやかすきっかけや原因になるものでもあります。その危険は、インターネットやスマホを使う人たちみんなに必ずあります。また、誹謗中傷やネットいじめ、不適切な情報発信（個人情報漏えいや不適切行為の SNS への投稿など）など、みなさんを取り巻くネットトラブルの事例はとてもたくさんあります。不適切な使い方をすれば、みなさんはその被害者になるだけでなく、加害者にもなりうるということを自覚する必要があります。

学校では、みなさんが被害者にも加害者にもならないよう、適切な情報機器の使い方を指導していきます。具体的には、「安全に使うための知識・知恵」や「ルールを守って使うこと」を学んでいきます。トラブルに巻き込まれないようにしっかりと学校で学ぶとともに、保護者の方ともしっかりと使い方のルールについて話し合いましょう。

(1) 安全にネットやスマホを使うために

- ・利用時間や利用場所などを保護者の方としっかりと話し合い、決められたルールを守る。

⇒ スマホやゲーム機等の情報機器を学校に持ってきた場合、指導して保護者の方に連絡します。また、学校で預かり保護者の方に直接返します。その他、校内で動画や写真の撮影を行っていないか等を保護者の方に確認してもらい、データの削除をお願いすることがあります。

※ 公立中学校のほとんどは、ケータイ、スマホ等の情報機器の持ち込みを禁止しています。

そのことから、校内で許可なく撮影されたものは不適切写真や不適切動画として扱われます。

- ・個人が特定されるような投稿はしない。また、位置情報記録機能についても気をつける。
- ・自分や友人の顔写真や動画等を投稿しない。
- ・悪質な書き込みや誹謗中傷、なりすましは犯罪になる。

- ・思いついたことやその時の感情を安易に SNS や掲示板等へ書き込まない。

➡ 中学生がよくトラブルになる問題です。後先や相手の気持ちを考えられない、一時的な感情で書き込みを行ってしまうと、思いもよらない大きなトラブルにつながります。また、文字として内容が残るのでトラブルが解決した後もすっきりと終わらないケースもあります。その他にも、文字だけのやり取りなので、誤解や勘違いからトラブルになるケースもあります。

- ・ SNS 等で知り合った人とは会わない。(トラブルになるリスクが非常に高い)
- ・ 長吉中学校の生徒以外とのやり取りは十分注意する。

⇒ 他校の生徒とのトラブルは、解決までに非常に時間を要することが多いです。また、内容によっては、警察や児童相談所等の関係諸機関と連携して解決を目指すことがあります。

<保護者のみなさまへ>

先にも述べましたとおり、子どもたちを取り巻くネット・スマホのトラブル事情は多種多様に及び、全国的に見ても子どもたちの命や人生をも脅かす非常に痛ましい事件が起こっていることも確かです。学校は、子どもたちが悲惨な事件に巻き込まれることがないよう、些細だと思われる事柄についても、小さな変化を見逃さず指導していきたいと考えています。もし、子どもたちがトラブルに巻き込まれたときには、トラブルが大きくなり解決が難しくなることがないよう、早期に対応したいと考えています。子どもたちが、安全で安心して学校生活と家庭生活を過ごしていけるよう、保護者の方としっかりと連携して指導にあたっていきたいと思っていますので、ご家庭で気付かれたことがありましたら、是非ともご相談していただけたらと思っています。また、ご家庭でも今一度、ケータイ・スマホ等を持たせた「目的」とご家庭での「ルール」をお子さまと確認していただきますよう、よろしくお願いします。

◆物 品 の 購 入 に つ い て

[標準服指定業者]

- ・ タツミヤ 平野区長吉出戸8-7-26 (長吉城山バス停前) (6790-1707)
- ・ 大ビル 住吉区東粉浜 3-25-7 (6678-2262)

※下記の表の物品はタツミヤで購入できます。

物 品	代 金	物 品	代 金
名札	260 円	Tシャツ (体操服)	1850 円
校章	250 円	ハーフパンツ (体操服)	1960 円
組章	180 円	ジャージ上	3090 円
バッジねじ裏	10 円	ジャージ下	2800 円
ボタン (大・小ともに)	70 円	体育館シューズ	2470 円
裏ボタン	10 円	シューズ袋	320 円

年 組 番 名前